

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1. 推進事業

事業費（要望額）	2,447,000円	（うち交付金 1,631,000 円）	都道府県名	岡山県
			事業実施年度	平成23年度

現状と課題（※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。）

農業労働力の減少や高齢化が進む中、農業の担い手不足が問題となっており、本県農業を将来にわたり持続的かつ安定的に発展させるためには、意欲あふれる新規就農者の確保・育成が重要である。
 本県では、新規参入者を対象とした研修の実施により毎年110名以上の新規就農者を確保しているが、地域の農業・農村を支えていくためには、新規参入者に加え、Uターンや定年帰農者希望者等の他産業従事経験者の円滑な就農と定着を促進することが必要である。

課題を解決するため対応方針（※上記の課題に対応させて記述すること。）

農林水産総合センター農業大学校において、他産業従事経験者等の就農に向けた技術や知識の習得を図るため、実習と講義を組み合わせた既存の「社会人就農研修」を実施するとともに、新たに講義のみを行うメニューを拡充し、より多くの新規就農者の円滑な就農と定着を促進する。

都道府県における目標関係

取組名	成果目標	事業実施後の状況				成果目標の具体的な実績	備考
		計画時（平成22年度）	実施後（平成23年度）	目標（平成23年度）	達成率		
研修教育推進	新規就農者の育成	既存の研修教育修了者における新規就農者数20人	新たな研修教育修了者における新規就農者数42人（B）	新たな研修教育修了者における新規就農者数40人（A）	$\frac{B}{A} \times 100 = 105\%$	新たな研修教育コース修了者における新規就農者数42人 $\frac{42}{40} \times 100 = 105\%$ 目標とする新規就農者数40人	

事業実施地区数

総合所見

1	目標を達成することができた。今後も農業大学校や各団体等と連携し、新規就農者の育成を図っていく。
---	---

(注) 1 別紙様式1号に準じて作成すること。

2 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。

(別紙様式2号 別添1)

都道府県内における推進事業取組実施状況一覧表

取組名	事業実施主体名	計画策定時	事業実施後(目標年度)		目標(平成23年度)		加算設定に対応する実績	事業費(円)	負担区分(円)				目標達成状況 B/A×100	事業主体等による評価結果	都道府県による点検評価結果(所見)
		現状値	実績値	事業実績	目標値	具体的な事業内容(計画)			交付金	都道府県費	市町村費	その他			
研修教育推進	岡山県	既存の研修教育修了者における新規就農者数20人	新たに拡充した研修修了者における新規就農者数42人(B)	実習や講義を組み合わせて実施している「社会人就農研修」に講義のみを行うメニューを追加して実施した。	新たに拡充した研修修了者における新規就農者数40人(A)	実習や講義を組み合わせて実施している「社会人就農研修」に講義のみを行うメニューを追加する。	・研修修了者50人のうち新規就農者42人(84%) ・認定就農者及び認定農業者の割合30%(15人/50人) ・就農支援の専任者を配置	2,447,000	1,631,000	816,000			105%	研修メニューの拡充により、目標とした数の新規就農者を育成することができた。加算設定に対する実績のうち、認定就農者及び認定農業者の割合が、当初計画(40%)を達成できなかったことから、引き続き推進を図る。	目標を達成することができた。今後も農業大学校や各団体等と連携し、新規就農者の育成を図っていく。
—	—	20人	42人	—	40人	—	—	2,447,000	1,631,000	816,000			—	—	—

(注) 1 別紙様式1号の別添1に準じて作成すること。

2 「都道府県による点検評価結果(所見)」には、都道府県としての事業実施主体ごとの目標達成状況に関する評価を記載するとともに、目標未達成の場合には改善措置の指導の必要の有無を含めた今後の改善指導方策を記載する。